


〈報道関係のみなさま〉

夏の高校野球を、いつでもどこでも 一部大会では1回戦から配信
**「バーチャル高校野球」が「SPORTS BULL(スポーツブル)」にて
 地方大会約900試合のライブ中継をスタート**

朝日新聞社・朝日放送テレビ・運動通信社

株式会社朝日新聞社(代表取締役社長:渡辺雅隆)は、朝日放送テレビ株式会社(代表取締役社長:山本晋也)と共同で、株式会社運動通信社(代表取締役社長:黒飛功二郎)が運営するスポーツメディア「SPORTS BULL(スポーツブル)」内で展開する「バーチャル高校野球」(<https://vk.sportsbull.jp/koshien/>)にて、7/6(土)に開幕する群馬、長野、鹿児島、静岡の開会式より、第101回全国高校野球選手権大会(主催:朝日新聞社、日本高等学校野球連盟)のライブ中継を開始します。

地方大会では11大会を全試合ライブ中継するほか、全49地方大会決勝を含め約900試合を中継する予定です。さらに、全国大会では、全48試合をライブ中継し、試合後にはダイジェスト動画や試合後のインタビュー動画も配信。101回目の新たな一歩を踏み出す大会をより多くの方に楽しんでもらうことを通じて、競技の普及発展を目指します。


 第101回 全国高校野球選手権大会

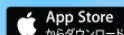
バーチャル高校野球

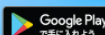
地方大会 約**900**試合
 全国大会 全試合

無料ライブ中継!

SPBL **SPORTS
 BULL**

スポーツブル


 App Store
 からダウンロード


 Google Play
 で手に入れよう


すべて
無料

◆地方大会約900試合をライブ中継 半イニング速報は全試合で実施

岩手、群馬、長野など11大会は1回戦から全試合をライブ中継し、地方大会全体では昨年の約700試合から大幅増となる約900試合をお届けします。また決勝は全49大会でライブ中継を実施し、試合後にはダイジェスト動画も配信します。ライブ中継のない試合も、全試合を半イニングごとにリアルタイムで速報。気になる学校を地方大会の初戦から応援できます。

<中継予定>

中継予定は変更になる場合があります。※の大会は、球場によって中継しない試合があります。

配信開始試合	地区
1回戦から	岩手・群馬・栃木※・千葉※・長野・石川・静岡※・滋賀・奈良・和歌山・広島※・山口※ ・愛媛※・長崎・大分・熊本・鹿児島
3回戦から	福島※
4回戦から	大阪※
準々決勝から	青森・秋田・東東京・西東京・埼玉・神奈川・岐阜※
準決勝から	南北海道・山形・宮城・新潟・茨城・山梨・富山・愛知・三重・京都・兵庫・岡山・香川・ 島根・高知・福岡・沖縄
決勝	北北海道・福井・鳥取・徳島・佐賀・宮崎

高校野球を盛り上げる「#僕らの甲子園」「#夏の地元自慢」キャンペーンをTikTokにて実施

高校野球の応援企画を、ショートムービープラットフォームアプリ「TikTok(ティックトック)」にて実施します。大会歌「栄冠は君に輝く」や応援歌に合わせた、高校球児への熱いエールや応援動画を募集します。優秀賞に輝いた投稿者には高校野球グッズをプレゼント。詳細はバーチャル高校野球上の特設サイトをご覧ください。

特設サイト: <https://vk.sportsbull.jp/koshien/campaign/2019/cheer/>

また、TikTok 内にバーチャル高校野球のアカウントを開設し、ホームラン動画、ハイライト動画など、スペシャル動画を多数展開する予定です。

地方大会期間中もオリジナル企画動画を配信！

地方大会のライブ配信に加え、今年もバーチャル高校野球ではオリジナルコンテンツとして、企画動画を配信します。101回大会を迎える今年の夏、「世紀変わり」を機に高校野球に関わる人たちが取り組む様々な“新しいもの”を取材し、記者の目線と映像ディレクターの目線でユーザーへお伝えする「高校野球新世紀」を始め、各地のテレビ局で制作された



高校野球に関する特集動画も、昨年同様お楽しみいただけます。

◆「バーチャル高校野球」について

バーチャル高校野球は、高校野球を動画やニュースでいつでもどこでも楽しめるサービスとして、2015年に株式会社朝日新聞社と朝日放送テレビ株式会社が共同で開始しました。全国高校野球選手権大会をはじめ、国民体育大会の特別競技である高校野球競技(硬式)や明治神宮野球大会などのライブ中継を中心にコンテンツを拡大し、昨夏の高校野球シーズンには累計約2.8億PV、約2,000万UBを達成しました。

◆「SPORTS BULL(スポーツブル)」について

「スポーツブル」は、提携する新聞社ならびに専門媒体の記事コンテンツのキュレーション配信を土台として、競技のハイライト映像ならびにオリジナル番組などの無料動画コンテンツの配信を行っています。現在1日約700本のコンテンツ配信を行っており、今後も記事コンテンツ、動画コンテンツの拡充を行い、無料スポーツメディアとしての価値向上を目指します。現在は大手全国紙、スポーツ紙系WEB媒体を中心に、60以上の媒体とメディア提携を行っています(2019年6月時点)。

- ・サービス名:SPORTS BULL
- ・対応:iOS アプリ、Android アプリ、ブラウザ(PC/スマートフォン)
- ・サービス URL:<https://sportsbull.jp>
- ・App Store URL:<https://itunes.apple.com/jp/app/id1086719653>
- ・Google Play URL:<https://play.google.com/store/apps/details?id=com.undotsushin&hl=ja>

◆「株式会社運動通信社」について

所在地:東京都港区西新橋 2-19-5 カザマビル 2階

代表者:代表取締役社長 黒飛功二郎

事業内容:インターネットスポーツメディア「スポーツブル」の運営など

URL:<https://sportsbull.jp/about/company/>